

トイレタンクの水漏れセルフ診断チャート

便器へチョロチョロ水が流れ続ける原因を調べてみましょう

この診断チャートは一般的な従来型トイレを基準にしています。機種によって構造が異なるため、原因を特定できない場合は無理に分解せず水道修理業者へご相談ください。

STEP1

便器へチョロチョロと水が流れていますか？

便器の中をよく見ると、少しずつ水が流れている状態です。



いいえ

水漏れはしていません。

※症状がある場合は別の原因の可能性があります。

はい

STEP2

オーバーフロー管から水が流れていますか？

オーバーフロー管はタンク中央付近にある1本の筒です。ここから水が流れている場合はタンク内の水位が高すぎるサインです。



はい

ボールタップの不良が疑われます

ボールタップが劣化して止水できず、オーバーフロー管から便器へ流れている可能性があります。



いいえ

STEP3

フロートバルブを触ると黒い汚れが手につきますか？

フロートバルブはタンクの底にあるゴム製の部品です。劣化するとゴムが溶け黒い汚れが手につきます。



いいえ

フロートバルブはまだ大丈夫です

ゴムの劣化はまだみられません。他の原因が考えられますのでSTEP4へ進んでください。



はい



フロートバルブの劣化が疑われます

ゴムが溶けて小さくなり、隙間から水が便器へ流れています。

STEP4

オーバーフロー管は折れていませんか？

根元から折れていると便器へ水が流れ続けます。
根元から折れていると便器へ水が流れ続けます。
根元から折れていると便器へ水が流れ続けます。



いいえ

はい



オーバーフロー管の破損が疑われます

折れた部分から水がそのまま便器へ流れ続けます。

その他の原因が考えられます



レバーハンドルの不具合

レバーハンドルが緩んでいたり、チェーンが短すぎたりするとフロートバルブがきちんと閉じずに水漏れすることがあります。



排水弁部の劣化や異物

フロートバルブと接する部分が欠けていたり、異物が挟まっていたりすると水漏れすることがあります。



その他の部品の不具合

タンクのひび割れや結露予防の発泡スチロールの不具合などが原因で水漏れすることがあります。

原因の特定が難しい場合は、専門の水道修理業者への点検・修理の相談をお勧めします。